

平成18年3月15日

薬事・食品衛生審議会
食品衛生分科会長 吉倉 廣 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会長 井上 達

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

平成17年8月31日厚生労働省発食安第0831006号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づくピラクロストロビンに係る食品規格（農産物に係る農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

ピラクロストロビン

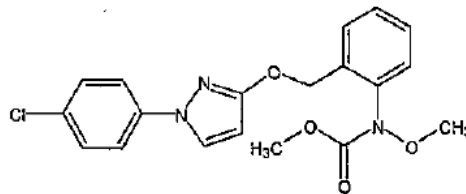
1. 品目名：ピラクロストロビン (pyraclostrobin)

2. 用途：殺菌剤

ストロビルリン系殺菌剤である。作用機序は、植物病原菌内のミトコンドリアで行われている呼吸を阻害することによるものと考えられる。

3. 化学名：メチル*N*-（2-〔1-4（4-クロロフェニル）-1*H*-ピラゾール-3-イル〕オキシメチル）フェニル）*N*-メトキシカルバメート

4. 構造式及び物性



分子式 $C_{19}H_{18}ClN_3O_4$
 分子量 387.8
 水溶解度 2.4 mg/l (20°C)
 分配係数 logPow=3.99
 (メーカー提出資料より)

5. 適用病害虫の範囲及び使用方法

本薬の適用病害虫の範囲及び使用方は以下のとおり。

ドライフロアブル剤 (18.8%)							
作物名	適用病害名	使用方法					
		希釈倍数	散布液量 (L/10a)	使用時期	使用回数	使用方法	ピラクロストロビンを含む農薬の総使用回数
りんご	斑点落葉病	3000	200 ~ 700	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
なし	黒斑病	5000		収穫7日前 まで			
ぶどう	べと病 うどんこ病	4000	150 ~ 300	収穫前日 まで			
きゅうり	べと病 うどんこ病						

かぼちゃ	うどんこ病						
はくさい	べと病			収穫3日前まで			
ボスカリド・ピラクロストロビン水和剤 (17.0%・8.5% SE 剤)							
作物名	適用病害名	使用方法					
		希釈倍数	使用液量 (L/10a)	使用時期	使用回数	使用方法	ピラクロストロビンを含む農薬の総使用回数
りんご	斑点落葉病 黒星病 うどんこ病 黒点病 炭疽病 褐斑病	2500	200 ~ 700	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
なし	黒班病 黒星病 うどんこ病 輪紋病						
おうとう	灰星病	2000					

6. 作物残留試験結果

(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

ピラクロストロビン

② 分析法の概要

ピラクロストロビンは、メタノールにより抽出し、多孔性けいそう土カラム等を用いてヘキサンに転溶を行う。その上で、NH₂ シリカミニカラム等を用いて精製した後、高速液体クロマトグラフィーを用いて定量する。

(2) 作物残留試験結果

① ぶどう

ぶどうを用いた作物残留試験(5例)において、本薬(18.8%水和剤)の3,000倍希釈液を計3回散布(300~350L/10a)した。この試験は適用範囲内で行われていないが、試験を行った範囲内での最も大きな残留量は散布後7~26日において、1.00ppm、1.19ppm(21日前、3回)、0.78ppm(21日前、3回)、0.37ppm、0.32ppm(21日前、3回)であった。

② りんご(水和剤)

りんごを用いた作物残留試験(2例)において、本薬(18.8%水和剤)の3,000倍希釈液を計3回散布(600~625L/10a)したところ、散布後1~21日の最大残留量^{注)}

は 0.26ppm, 0.20ppm (7 日前、3 回) であった。

③ りんご (SE 剤)

りんごを用いた作物残留試験(2 例)において、本薬 (8.5%水和剤) の 2,500 倍希釈液を計 3 回散布 (600~625L/10a) したところ、散布後 1 日の最大残留量は 0.18ppm, 0.35ppm であった。

④ なし (水和剤)

なしを用いた作物残留試験(2 例)において、本薬 (18.8%水和剤) の 3,000 倍希釈液を計 3 回散布 (300L/10a) した。この試験は適用範囲内で行われていないが、試験を行った範囲内での最も大きな残留量は、散布後 1 日において 0.44ppm、0.65ppm であった。

⑤ なし (SE 剤)

なしを用いた作物残留試験(2 例)において、本薬 (8.5%水和剤) の 2,500 倍希釈液を計 3 回散布 (300~400L/10a) したところ、散布後 1 日の最大残留量は 0.30ppm、0.22ppm であった。

⑥ おうとう

おうとうを用いた作物残留試験(2 例)において、本薬 (8.5%水和剤) の 2,000 倍希釈液を計 3 回散布 (400L/10a) したところ、散布後 1 日の最大残留量は 0.90ppm, 0.55ppm であった。

⑦ かぼちゃ

かぼちゃを用いた作物残留試験(2 例)において、本薬 (18.8%水和剤) の 3,000 倍希釈液を計 3 回散布 (150L/10a) した。この試験は適用範囲内で行われていないが、試験を行った範囲内での最も大きな残留量は、散布後 1 日において 0.06ppm、0.04ppm であった。

⑧ きゅうり

きゅうりを用いた作物残留試験(2 例)において、本薬 (18.8%水和剤) の 3,000 倍希釈液を計 3 回散布 (200L/10a, 201~228L/10a) したところ、散布後 1 日の最大残留量は 0.07ppm、0.07ppm であった。

⑨ はくさい

はくさいを用いた作物残留試験(4 例)において、本薬 (18.8%水和剤) の 3,000 倍希釈液を計 3 回散布 (200L/10a) した。この試験は適用範囲内で行われていないが、試験を行った範囲内での最も大きな残留量は、散布後 3~14 日において 1.59ppm、0.25ppm (7 日前、3 回)、0.36ppm (14 日前、3 回)、1.34ppm (7 日前、3 回) であった。

注) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験(いわゆる最大使用条件下の作物残留試験)を実施し、それぞれの試験から得られた残留量。

(参考：平成 10 年 8 月 7 日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に関する意見具申」)

表 作物残留試験成績

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量(ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ぶどう*	5	18.8%水和剤	3,000倍散布	3回	7, 14, 21日	圃場A:1.00ppm(#) 圃場B:0.37ppm(#) 圃場C:0.32ppm(21日)(#) 圃場D:1.19ppm(21日)(#)
			300L/10a、350L/10a 400L/10a			
りんご*	2	18.8%水和剤	3,000倍散布	3回	1, 7, 21日	圃場A:0.26ppm 圃場B:0.20ppm(7日)
			600L/10a、625L/10a			
りんご	2	8.5%SE剤	2,500倍散布	3回	1, 7, 14日	圃場A:0.18ppm 圃場B:0.35ppm
			600L/10a、625L/10a			
なし	2	18.8%水和剤	3,000倍散布	3回	1, 7, 21日	圃場A:0.44ppm(#) 圃場B:0.65ppm(#)
			300L/10a			
なし	2	8.5%SE剤	3,000倍散布	3回	1, 7, 14日	圃場A:0.30ppm 圃場B:0.22ppm
			300L/10a、400L/10a			
おうとう	2	8.5%SE剤	2,000倍散布	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.90ppm 圃場B:0.55ppm
			400L/10a			
かぼちゃ	2	18.8%水和剤	3,000倍散布	3回	1, 7, 14日	圃場A:0.06ppm(#) 圃場B:0.04ppm(#)
			150L/10a			
きゅうり	2	18.8%水和剤	3,000倍散布	3回	1, 7, 14日	圃場A:0.07ppm(#) 圃場B:0.07ppm(#)
			200L/10a、 201~228L/10a			
はくさい*	4	18.8%水和剤	3,000倍散布	3回	3, 7, 14日	圃場A:1.59ppm(#) 圃場B:0.25ppm(#) 圃場C:0.36ppm(14日)(#) 圃場D:1.34ppm(#)
			200L/10a			

最大使用条件下の作物残留試験条件に、下線を付している。

※印で示した作物については、申請の範囲内で最高の値を示した括弧内に示す条件において得られた値を採用した。

#印を付したものは、申請の範囲内で行われていない作物残留試験における残留量である。

なお、食品安全委員会農薬専門調査会の農薬評価書「ピラクロストロビン」に記載されている作物残留試験成績は、各試験条件における残留農薬の最高値及び各試験場、検査機関における最高値の平均値を示したものであり、上記の最大残留量の定義と異なっている。

7. ADIの評価

食品安全基本法(平成15年法律第48号)第24条第1項第1号の規定に基づき、平成15年11月17日付厚生労働省発食安第1117003号により食品安全委員会あて意見を求めたピラクロストロビンに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：3.4mg/kg/day

(動物種) ラット

(投与方法) 混餌投与

(期間/試験の種類) 慢性毒性試験及び発がん性試験

安全係数：100

ADI：0.034mg/kg/day

8. 諸外国における使用状況

コーデックスにおいて残留基準は設定されていないが、米国、カナダ及びオーストラリアにおいて登録されている。

9. 基準値案

①残留の規制対象：ピラクロストロビン本体

米国の基準においては、ピラクロストロビン及びピラクロストロビン代謝物(メチル*N*-〔2-〔1-(4-クロロフェニル)-1*H*-ピラゾール-3-イル]オキシメチル〕フェニル)カルバメート)を規制の対象としているが、作物残留試験において検出される代謝物は概ね微量(0.17ppm以下)または検出限界以下であり、検出量が多いものであっても親化合物を含む総量に対する割合が低い(3%未満)ことから、親化合物のみを規制対象とする。

なお、食品安全委員会によって作成された農薬評価書においても、暴露評価対象物質としては親化合物のみが設定されている。

②基準値案は別紙のとおりである。

③暴露評価

各食品について基準値案の上限まで又は作物残留試験成績等のデータから推定される量の本薬が残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量(推定摂取量(EDI))のADIに対する比は、以下のとおりである。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下に行った。

	EDI/ADI (%)
国民平均	40.7
幼小児 (1～6歳)	78.2
妊婦	32.9
高齢者 (65歳以上)	41.7

EDI 試算：作物残留試験成績の平均値×摂取量

なお、EDI 試算において米国の残留基準値を参照した食品及び米国における作物残留試験結果を基に代表値を設定した食品については、親化合物の他に代謝物 M07(メチルN-(2-[1-(4-クロロフェニル)-1H-ピラゾール-3-イル]オキシメチル)フェニル)カルバメート)を含む値で試算を行ったものである。

(試算の具体例) 国民平均の摂取量を用いた試算

食品名	基準値案 (ppm)	当該食品の 摂取量 (g/人/日)	残留試験成績 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	ピラクロストロビン 推定摂取量 (μ g) *1
	(A)	(B)		(C)	(A×B又はC×B)
小麦	0.02	116.8	:		2.3
大麦	0.4	5.9	<0.04 (16データ)、 0.05、0.05、0.05 0.06、0.07、0.08 0.18、0.19	0.06	0.4
:	:	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:
ねぎ	0.9	11.3	0.07、0.50、0.59	0.39	4.4
にんにく	0.9	0.3	:	:	0.3
:	:	:	:	:	:
計					737.6
ADI比 (%)					40.7

*1 Cの値があるものについては、C×Bの値を用いた。

農産物名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値			作物残留試験成績 ppm	11月29日 告示基準値 ppm
				登録保留 基準値 ppm	国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm		
小麦	0.02					0.02 アメリカ	<0.04 (33data)	0.02
大麦	0.4					0.4 アメリカ	<0.04(16data), 0.05, 0.05, 0.05, 0.06, 0.07, 0.08, 0.18, 0.19	0.4
ライ麦	0.02**					0.04 アメリカ	<0.04 (5data)	0.04
とうもろこし	0.1					0.1 アメリカ		0.1
大豆	0.04					0.04 アメリカ		0.04
小豆類(いんげん、ささげを含む※)	0.3					0.3 アメリカ		0.3
えんどう	0.3					0.3 アメリカ	<0.04, <0.04, 0.07, 0.08, 0.16, 0.24, 0.25, 0.34	0.3
そらまめ	0.3					0.3 アメリカ		0.3
らっかせい	0.05					0.05 アメリカ	<0.04 (10data), 0.043	0.05
その他の豆類	0.3					0.3 アメリカ		0.3
ばれいしょ	0.02**					0.04 アメリカ	<0.04 (23data)	0.04
さといも類(やつがしらを含む)	0.04					0.04 アメリカ		0.04
かんしょ	0.04					0.04 アメリカ		0.04
やまいも(長いもをいう)	0.04					0.04 アメリカ		0.04
その他のいも類	0.04					0.04 アメリカ		0.04
てんさい	0.2					0.2 アメリカ	<0.04(3data), 0.05, 0.05, 0.06, 0.06, 0.08, 0.10, 0.10, 0.14	0.2
だいこん類(ラディッシュを含む)の根	0.4					0.4 アメリカ	0.07, 0.09, 0.10, 0.25, 0.32	0.4
だいこん類(ラディッシュを含む)の葉	16					16 アメリカ	7.67, 9.85, 10.05, 12.32, 15.37	20
かぶ類の根	0.4					0.4 アメリカ		0.4
かぶ類の葉	16					16 アメリカ		20
西洋わさび	0.4					0.4 アメリカ		0.4
クレソン	29					29.0 アメリカ		30
はくさい	3*	登録申請中				5 アメリカ	1.59(#), 0.25(#), 0.36(#), 1.34(#), 1.64, 0.058	5
キャベツ	5					5 アメリカ		5
芽キャベツ	5					5 アメリカ		5
ケール	16					16 アメリカ		20
こまつな	16					16 アメリカ		20
きょうな	16					16 アメリカ		20
チンゲンサイ	5					5 アメリカ		5
カリフラワー	5					5 アメリカ		5
ブロッコリー	5					5 アメリカ		5
その他のあぶらな科野菜	16					29.0 アメリカ		30
ごぼう	0.4					0.4 アメリカ		0.4
サルシフィー	0.4					0.4 アメリカ		0.4
チコリ	29					29.0 アメリカ		30
エンダイブ	29					29.0 アメリカ		30
しゅんぎく						29.0 アメリカ		30
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む)	29					29.0 アメリカ	1.08, 14.67, 2.79, 1.70, 2.84, 1.31, 4.00, 16.94, 3.16, 5.37, 21.17, 15.67	30
その他のきく科野菜	29					29.0 アメリカ		30
たまねぎ	0.2**					0.9 アメリカ	0.04 (4data), 0.05, 0.11	0.9
ねぎ(リーキを含む)	0.9					0.9 アメリカ	0.07, 0.50, 0.59	0.9
にんにく	0.9					0.9 アメリカ		0.9
にら						0.9 アメリカ		
その他のゆり科野菜	0.9					0.9 アメリカ		0.9
にんじん	0.4					0.4 アメリカ	0.05, 0.05, 0.06, 0.08, 0.12, 0.13, 0.14, 0.17, 0.26	0.4
パースニップ	0.4					0.4 アメリカ		0.4
パセリ	29					29.0 アメリカ		30
セロリ	29					29.0 アメリカ		30
その他のせり科野菜	29					29.0 アメリカ		30
トマト	0.3**					1.4 アメリカ	0.08, 0.08, 0.09, 0.09, 0.11, 0.12, 0.12, 0.13, 0.13, 0.14, 0.14, 0.14, 0.16, 0.17, 0.17, 0.17, 0.18, 0.19, 0.19, 0.22, 0.23	1
ピーマン	0.3**					1.4 アメリカ	0.04, 0.10, 0.11, 0.15, 0.18, 0.25	1
なす	1.4					1.4 アメリカ		1
その他のなす科野菜	1.4					1.4 アメリカ	0.16, 0.24, 0.85	1
きゅうり(ガーキンを含む)	0.5	登録申請中				0.5 アメリカ	0.07(#), 0.07(#), 0.05, 0.05, 0.06, 0.08, 0.09, 0.11, 0.13, 0.15, 0.15, 0.16, 0.41	0.5

かぼちゃ(スカッシュを含む)	0.5**	登録申請中			0.5	アメリカ	0.06(#), 0.04(#), 0.09, 0.16, 0.17, 0.19, 0.20	0.5
しろうり	0.5				0.5	アメリカ		0.5
すいか	0.5				0.5	アメリカ		0.5
メロン類果実	0.3**				0.5	アメリカ	0.09, 0.11, 0.12, 0.12, 0.13, 0.15	0.5
まくわうり	0.5				0.5	アメリカ		0.5
その他のうり科野菜	0.5				0.5	アメリカ		0.5
ほうれん草					29.0	アメリカ	11.11, 11.53, 15.11, 17.65, 7.40, 6.57, 7.65, 23.38	30
たけのこ					29.0	アメリカ		
しょうが	0.04				0.04	アメリカ		0.04
未成熟えんどう	0.5				0.5	アメリカ		0.5
未成熟いんげん	0.5				0.5	アメリカ		0.5
えだまめ	0.5				0.5	アメリカ		0.5
その他の野菜	16				29.0	アメリカ		30
みかん	0.02				2	アメリカ	<0.02 (5data)	2
なつみかんの果実全体	2				2	アメリカ		2
レモン	2				2	アメリカ	0.17, 0.22, 0.23, 0.32, 0.37	2
オレンジ(ネーブルオレンジを含む)	2				2	アメリカ	0.14, 0.15, 0.20, 0.23, 0.23, 0.25, 0.27, 0.32, 0.33, 0.34, 0.39, 0.40, 0.44, 0.58	2
グレープフルーツ	2				2	アメリカ	0.09, 0.10, 0.14, 0.14, 0.21, 0.27	2
ライム	2				2	アメリカ		2
その他のかんきつ類果実	2				2	アメリカ		2
りんご	1*	登録申請中			1.5	アメリカ	0.26, 0.20, 0.18, 0.35, 0.42, 0.42, 0.22, 0.36, 0.18, 0.16, 0.62, 0.55, 0.22, 0.25, 0.36, 0.46, 0.27, 0.35, 0.74, 0.20, 0.17	2
日本なし	1.5	登録申請中			1.5	アメリカ	0.44(#), 0.65(#), 0.298, 0.220	2
西洋なし	1.5				1.5	アメリカ		2
マルメロ	1.5				1.5	アメリカ		2
びわ	1.5				1.5	アメリカ		2
もも	0.02**				0.9	アメリカ	<0.005 (2data)	0.9
ネクタリン	0.9				0.9	アメリカ	0.24, 0.39	0.9
あんず(アブリコットを含む)	0.9				0.9	アメリカ		0.9
すもも(プルーンを含む)	0.9				0.9	アメリカ	0.04, 0.04, 0.05, 0.06, 0.06, 0.07, 0.08, 0.08, 0.08, 0.14, 0.15, 0.21	0.9
おうとう(チェリーを含む)	2*	登録申請中			0.9	アメリカ	0.90, 0.55, 0.27, 0.27, 0.29, 0.36, 0.41, 0.44, 0.45, 0.52, 0.52, 0.53, 0.55, 0.67	0.9
いちご	0.4				0.4	アメリカ	0.08, 0.14, 0.15, 0.17, 0.18, 0.22, 0.26, 0.33	0.4
ラズベリー	1.3				1.3	アメリカ	0.50, 0.66, 0.81	1
ブラックベリー	1.3				1.3	アメリカ		1
ブルーベリー	1.3				1.3	アメリカ	0.21, 0.33, 0.35, 0.37, 0.52, 0.63	1
ハuckleベリー	1.3				1.3	アメリカ		1
その他のベリー類果実	1.3				1.3	アメリカ		1
ぶどう	3*	登録申請中			2	アメリカ	1.00(#), 1.19(#,\$), 0.78(#), 0.37(#), 0.32(#), 0.14, 0.14, 0.26, 0.27, 0.35, 0.35, 0.37, 0.40, 0.44, 0.45, 0.46, 0.46, 0.50, 0.51, 0.51, 0.65, 0.76, 0.92, 0.95, 0.97, 1.20, 1.47, 1.66, 1.82	2
バナナ	0.02				0.04	アメリカ	<0.04 (12data)	0.04
ぐり	0.04				0.04	アメリカ		0.04
ペカン	0.02				0.04	アメリカ	<0.04 (5data)	0.04
アーモンド	0.02				0.04	アメリカ	<0.04 (10data)	0.04
くるみ	0.04				0.04	アメリカ		0.04
その他のナッツ類	0.7				0.70	アメリカ	トースチオ (<0.04, 0.18, 0.46)	0.7
ホップ	23				23	アメリカ		20
その他のスパイス	29				29	アメリカ		30
その他のハーブ	29				29	アメリカ		30
牛の筋肉	0.1				0.1	アメリカ		0.1
豚の筋肉	0.1				0.1	アメリカ		0.1
羊の筋肉	0.1				0.1	アメリカ		0.1
馬の筋肉	0.1				0.1	アメリカ		0.1
山羊の筋肉	0.1				0.1	アメリカ		0.1

牛の脂肪	0.1				0.1	アメリカ		0.08
豚の脂肪	0.1				0.1	アメリカ		0.08
羊の脂肪	0.1				0.1	アメリカ		0.08
馬の脂肪	0.1				0.1	アメリカ		0.08
山羊の脂肪	0.1				0.1	アメリカ		0.08
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.05				0.05	オーストラリア		0.08
牛の肝臓	1.5				1.5	アメリカ		0.8
豚の肝臓	1.5				1.5	アメリカ		0.8
羊の肝臓	1.5				1.5	アメリカ		0.8
馬の肝臓	0.1				0.1	アメリカ		0.8
山羊の肝臓	1.5				1.5	アメリカ		0.8
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.05				0.05	オーストラリア		0.8
牛の腎臓	0.2				0.2	アメリカ		0.1
豚の腎臓	0.2				0.2	アメリカ		0.1
羊の腎臓	0.2				0.2	アメリカ		0.1
馬の腎臓	0.2				0.2	アメリカ		0.1
山羊の腎臓	0.2				0.2	アメリカ		0.1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.05				0.05	オーストラリア		0.1
牛の食用部分	0.2				0.2	アメリカ		0.1
豚の食用部分	0.2				0.2	アメリカ		0.1
羊の食用部分	0.2				0.2	アメリカ		0.1
馬の食用部分	0.2				0.2	アメリカ		0.1
山羊の食用部分	0.2				0.2	アメリカ		0.1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.05				0.05	オーストラリア		0.1
乳	0.1				0.1	アメリカ		0.06
鶏の筋肉	0.05				0.05	オーストラリア		0.05
その他の家きんの筋肉	0.05				0.05	オーストラリア		0.05
鶏の脂肪	0.05				0.05	オーストラリア		0.05
その他の家きんの脂肪	0.05				0.05	オーストラリア		0.05
鶏の肝臓	0.05				0.05	オーストラリア		0.05
その他の家きんの肝臓	0.05				0.05	オーストラリア		0.05
鶏の腎臓	0.05				0.05	オーストラリア		0.05
その他の家きんの腎臓	0.05				0.05	オーストラリア		0.05
鶏の食用部分	0.05				0.05	オーストラリア		0.05
その他の家きんの食用部分	0.05				0.05	オーストラリア		0.05
鶏の卵	0.05				0.05	オーストラリア		0.05
その他の家きんの卵	0.05				0.05	オーストラリア		0.05

(#)で示した作物残留試験成績は、適用範囲内で行われていない。

* 国内の作物残留試験に基づき設定した基準値案

** 米国における作物残留試験に基づき設定した基準値案

\$ 作物残留試験のデータのばらつきを考慮し、最大残留量を暴露評価に用いた。

米国の作物残留試験のデータを太字斜体の文字で示した。

なお、米国の作物残留試験のデータについては、便宜上、ビラクロストロピン代謝物を含む総量で示している。

(参考)

これまでの経緯

- 平成13年10月31日 農薬登録申請
- 平成15年11月6日 農林水産省から農薬申請に係る連絡
- 平成15年11月17日 厚生労働大臣から食品安全委員会長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
- 平成15年11月27日 食品安全委員会（要請事項説明）
- 平成17年7月6日 食品安全委員会農薬専門調査会
- 平成17年8月18日 食品安全委員会（報告）
- 平成17年8月18日 食品安全委員会における食品健康影響評価（案）の公表
- 平成17年9月21日 食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
- 平成17年8月31日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会へ諮問
- 平成17年12月20日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

●薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

【委員】

- 青木 宙 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授
- 井上 達 国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター長
- 井上 松久 北里大学医学部微生物学教室教授
- 大野 泰雄 国立医薬品食品衛生研究所副所長
- 小沢 理恵子 日本生活協同組合連合会くらしと商品研究室長
- 加藤 保博 財団法人残留農薬研究所化学部長
- 志賀 正和 社団法人農林水産先端技術産業振興センター研究開発部長
- 下田 実 東京農工大学農学部獣医学科助教授
- 豊田 正武 実践女子大学生生活科学部生活基礎化学研究室教授
- 中澤 裕之 星薬科大学薬品分析化学教室教授
- 米谷 民雄 国立医薬品食品衛生研究所食品部長
- 山添 康 東北大学大学院薬学研究科医療薬学講座薬物動態学分野教授
- 吉池 信男 独立行政法人国立健康・栄養研究所研究企画・評価主幹

(○：部会長)